



みね ふうか  
峰 風花さん

(県立竜ヶ崎第一高等学校2年)

高校入学後にビームライフルを始める。昨年8月に開催された「全関東選手権大会兼国体予選大会」で3位となり、出場した「福井しあわせ元気国体」では「2種目」で7位入賞。昨年11月の「関東高等学校選抜大会」で見事2位に輝き、今年3月の「全国高等学校選抜大会」への出場が決まっている。17歳。

【ビームライフル・ビームピストル競技とは】

射撃用光線銃を使い、10m離れた「的」の中心を狙う競技。ビームライフルは45分間で60発を撃ち、合計点数で競い合う。最高点（黒点の中心）は10.9点（射撃位置からは直径1mmの黒点に見える）。少しのズレで大幅に点数が変わるため、安定して高得点を出し続けるためには、高い集中力と精神力が求められる。

# 輝け！ みらいアスリート

-第4走者- 峰 風花さん（ビームライフル）

このコーナーでは、来年の茨城国体開催応援企画として、市内出身でさまざまなスポーツの分野で活躍する人にスポットをあて、紹介していきます。



## 「目標に向け頑張る力、身に付いた」

輝け！みらいアスリートの第4走者を務めるのは、ビームライフルの峰風花さんです。峰さんは昨年、福井県で開催された「福井しあわせ元気国体2018」に茨城県代表として出場し、2種目で7位に入賞しました。

小学生のときはバレーボール、中学生のときは剣道をやっていたという峰さん。高校入学後に見学した射撃部で「衝撃を受けた」といいます。高校から競技を始める人も多く、「全国を目指せることも魅力でした」と話します。「楽しそう」と好奇心から競技を始め、2年生になると、出場した大会で好成績を残せるようになってきたといいます。

### 高校から「射撃」の道へ

小学生のときはバレーボール、中学生のときは剣道をやっていたという峰さん。高校入学後に見学した射撃部で「衝撃を受けた」といいます。高校から競技を始める人も多く、「全国を目指せることも魅力でした」と話します。「楽しそう」と好奇心から競技を始め、2年生になると、出場した大会で好成績を残せるようになってきたといいます。

### 国体でトップレベルを体感

全国からトップレベルの選手が集まり、レベルの高い試合が繰り広げられた福井国体。「上には上がいて、日本新記録達成を目前で見ました」。その中で見事入賞し、自信を深めた峰さん。「茨城県代表として共に戦ったトップクラスの選手とも交流機会があり、とても良い経験になりました」。

### 3月の全国大会で優勝したい

今後の目標は、3月に行われる「全国高等学校選抜大会」での優勝」と話します。この大会は高校の射撃部として4連覇が懸かかっているといい、「会場の雰囲気にもまれないようにして、力を出し切りたい」と意気込みます。

### 広い視野を持ち、社会に貢献できる人に

「心・技・体」の大切さ  
「大人から子どもまで年齢に関係なく競い合えるところ」が競技の魅力と話します。「自己ベストを更新したときや、大会で目標とする順位や点数がとれたときがうれしいですね」と微笑みます。大会でいい成績を残すには精神面のコントロールが重要で「緊張すると体がブレるため、心技体をいかに整えて試合に臨むかが大切」だそう。「競技を通じて集中力、向上心、目標を高く持つて努力する気持ちが身に付きました」と語ってくれました。

高校では生徒会長も務め、文武両道を体現する峰さん。かつて、災害復興支援ボランティアに参加した経験から、「自分のできることは何か」を考えるようになったといいます。将来はまだ「考え中」としながらも「グローバルな視点で、社会の抱える問題に立ち向かい、その解決に貢献できる人になりたい」と笑顔で話してくれました。